



前進座公演

北九州市立松本清張記念館プロデュース

松本清張 原作 鈴木幹二 脚色・演出

松本清張 朗読劇シリーズ

名古屋
初上演

『ゼロの焦点』

『或る「小倉日記」伝』

〈出演〉

柳生 啓介

浜名 実貴

中嶋宏太郎

写真提供・文藝春秋

2023年6月14日(水) 名古屋 今池ガスホール

14:00開演(13:30開場) / 18:30開演(18:00開場)

【ご観劇料金(税込)】 3,800円(当日4,000円) 全席自由席

【お申し込み・お問い合わせ】 前進座 全国公演事務所 ☎ 0422-49-2633

後援：名古屋演劇鑑賞会 協力：田中亨／愛商連前進座友の会

前進座公演

北九州市立松本清張記念館プロデュース
松本清張＝原作 鈴木幹二＝脚色・演出

名古屋
初上演

松本清張 朗読劇シリーズ

『ゼロの焦点』『或る「小倉日記」伝』



柳生啓介



浜名実貴



中嶋宏太郎

『ゼロの焦点』

「点と線」「眼の壁」に続く、昭和三十三年発表の長編推理小説の第三作目。松本清張の作家的地位をジャンルにとらわれず盤石にした記念碑的作品である。旅情あふれる社会派推理小説の代表作。

金沢へ行ったまま失踪した夫の行方を求め、北陸地方を尋ね歩く禎子。やがて関係者が次々と殺され、物語は戦後日本に生きた一人の女性の過去を暴き始める……。

『或る「小倉日記」伝』

昭和二十七年度下半期芥川賞を受賞した清張の出世作。情熱を注ぎこんだ果てに、努力が無に帰する人間の悲劇。それは、清張が生涯追い続けて止まぬテーマであった。

明治三十二年～三十五年、陸軍軍医として小倉に赴任していた頃の森鷗外の日記が散逸していることを知った身体の不自由な青年田上耕作は、資料を採集しながらその空白を埋めていくことに情熱を注ぐ。「人生の目的と葛藤」「母の無償の愛」に焦点を当て脚色、前進座の松本清張朗読劇の代表作ともいえる作品。

【前進座と松本清張】

前進座は、一九三一年（昭和六年）、河原崎長十郎・中村翫右衛門・河原崎国太郎らの青年歌舞伎俳優により創立、本年二〇二三年に九十二年を迎える。歌舞伎作品のほか、歴史劇、現代劇、青少年向け音楽劇と幅広い舞台を創造し、大都市公演・全国巡演を展開している。

清張は戦前から映画『人情紙風船』などを観て以来前進座の熱心なファンとなった。「翫右衛門を観る会」をつくり、さらに一九六八年には大佛次郎・海音寺潮五郎・井上靖・水上勉と五人で発起人となり、前進座を応援し次代を育てる「矢の会」を発足した。前進座での清張作品の上演は七作（戯曲三作、原作劇化四作）。また翫右衛門死去の際は弔辞も読んでいる（翫右衛門最後の舞台は京都南座での清張原作『左の腕』であった）。

そのような縁から、二〇〇三年より北九州市立松本清張記念館プロデュースで「松本清張朗読劇シリーズ」がスタート。毎年清張作品から一作を選んで前進座が劇化。今日までに二十作品のレパートリーとなっている。

2023年

6月14日(水) 名古屋 今池ガスホール

14:00開演(13:30開場) / 18:30開演(18:00開場)

【ご観劇料金(税込)】 3,800円(当日4,000円) 全席自由席

チケット発売開始 4月10日(月)

【お申込み】

前進座フリーダイヤル ☎ 0120-500-325 [平日10:00~17:00 土日祝休]

前進座全国公演事務所 ☎ 0422-49-2633 [※ゴールデンウィークは営業]

前進座ウェブサイト <http://www.zenshinza.com/>

※本公演は、関係各所の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに沿って十分な対策を講じて実施いたします。



今池ガスホール(今池ガスビル9階)
■地下鉄ご利用の場合「東山線・桜通線」「今池」駅10番出口直結
■JRご利用の場合「JR中央本線」「千種」駅より東へ徒歩約10分
◎名古屋駅からのアクセス
【地下鉄東山線】藤が丘行きに乗車10分「今池」駅下車

名古屋千種区今池1丁目8番8号